

生活衛生関係営業の景気動向等調査結果

－2013年7～9月期－

I 景気の動向

持ち直しの動きが続いている生活衛生関係営業の景況

今期（2013年7～9月期）の売上、採算、業況判断の各D Iは、▲20.0（前期比2.7ポイント上昇）、▲7.4（同0.3ポイント低下）、▲16.7（同1.6ポイント低下）となりました。前年同期に対しては、売上D Iは20.3ポイント、採算D Iは17.5ポイント、業況判断D Iは13.1ポイント上昇しました。いずれも2期連続で前年同期を上回りました。

生活衛生関係営業の景況は、持ち直しの動きが続いています。

さらに、来期の売上、業況D I見通しも▲14.8、▲14.8と、それぞれ5.2ポイント、1.9ポイントの上昇を見込んでいます。

（注）D I＝良い（増加・黒字・好転）企業割合－悪い（減少・赤字・悪化）企業割合

調査時点	2013年9月上旬			
調査方法	郵送調査			
調査対象	生活衛生関係営業 3,220 企業			
有効回答企業数	2,969 企業（回答率 92.2%）			
（業種内訳）	飲食業	1,418 企業	映画館	49 企業
	食肉・食鳥肉販売業	141 企業	ホテル・旅館業	158 企業
	氷雪販売業	56 企業	公衆浴場業	110 企業
	理容業	370 企業	クリーニング業	246 企業
	美容業	421 企業		

この調査は、全国の生活衛生関係営業の主な業種について、その景気や設備投資の動向などを把握するため、定期的に（年4回）実施しているものです。

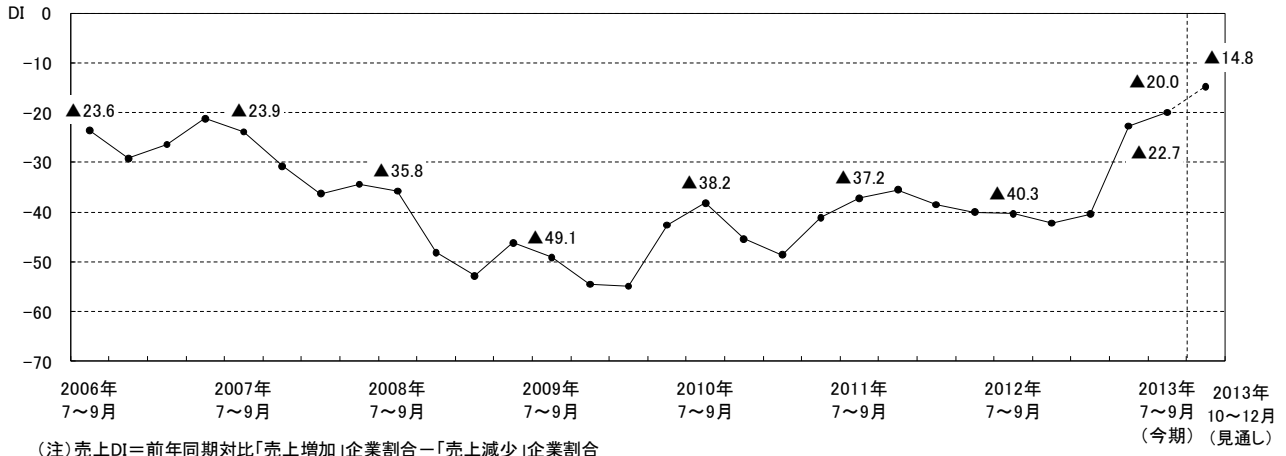
【本調査における留意事項】

- ・2012年4～6月期調査時点で調査対象企業の見直しが行われている。
- ・比率の算出にあたっては、無回答を除いたものを母数としている。

1. 売上

● 売上DIは、前期から2.7ポイント上昇して▲20.0ポイントとなり、前年同期に対しては20.3ポイント上回りました。2期連続で前年同期の水準を上回りました。
来期の見通しは、▲14.8となり、5.2ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ① 売上DIの推移（全業種計）



- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「映画館」「ホテル・旅館業」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。来期の見通しは、「飲食業」「理容業」「美容業」「クリーニング業」の4業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「中華料理店」「すし店」「料理店」「喫茶店」「その他飲食店」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。来期の見通しは、「中華料理店」「すし店」「料理店」「社交業」「その他飲食店」の5業種で上昇を見込んでいます。

図 I - 1 - ② 業種別売上DIの推移（飲食業を除く）

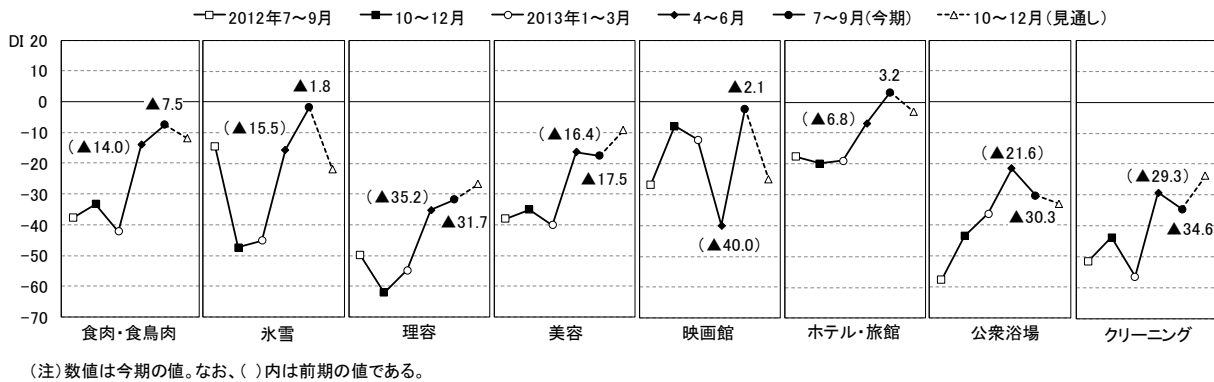
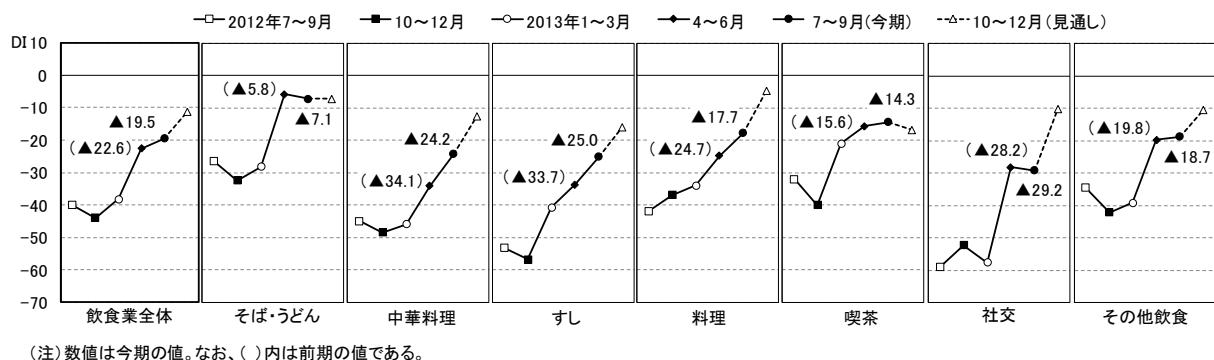


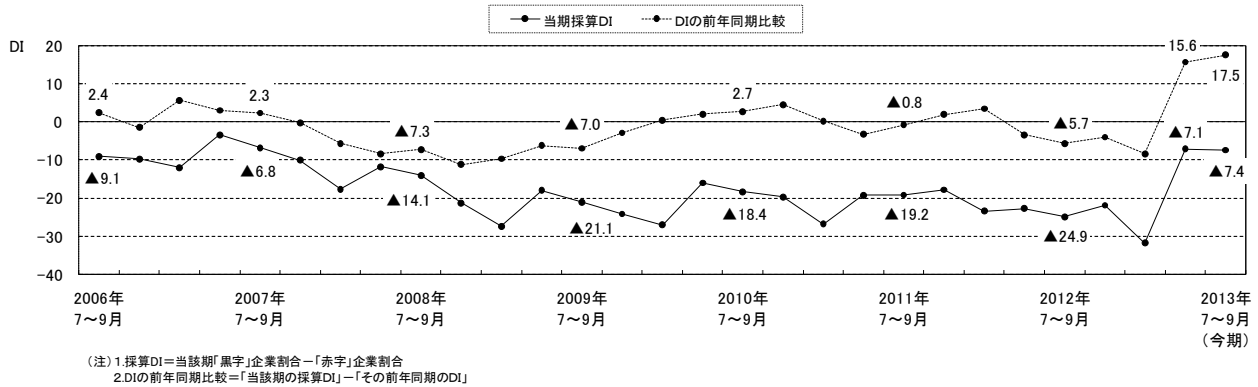
図 I - 1 - ③ 飲食業売上DIの推移



2. 採算

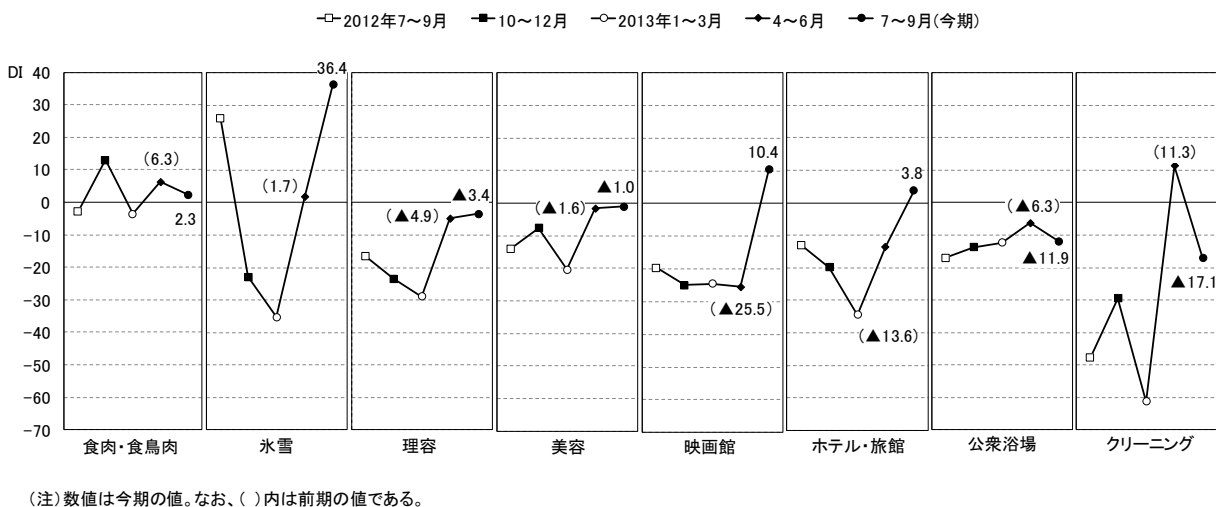
- 採算DIは、前期から0.3ポイント低下して▲7.4ポイントとなり、前年同期に対しては17.5ポイント上回りました。2期連続で前年同期の水準を上回りました。

図I-2-① 採算DIの推移（全業種計）

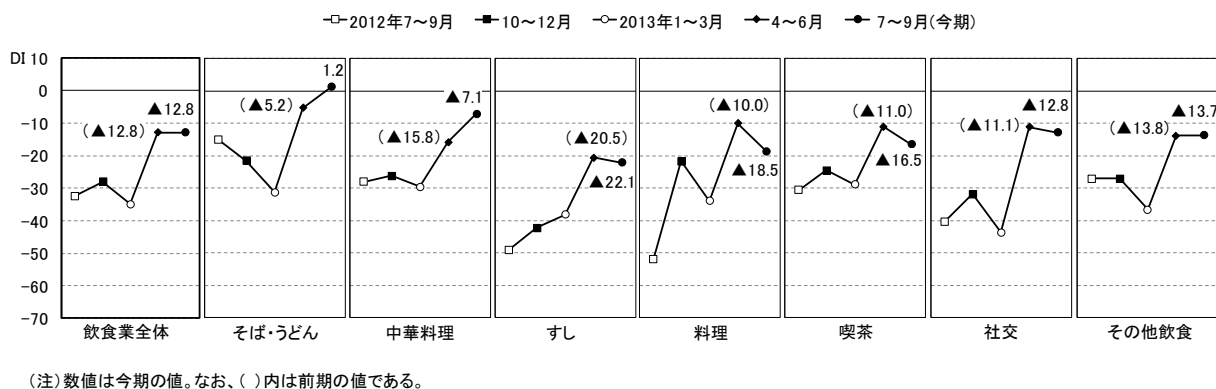


- 業種別にみると、前期に比べ「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「映画館」「ホテル・旅館業」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」の2業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。

図I-2-② 業種別採算DIの推移（飲食業を除く）



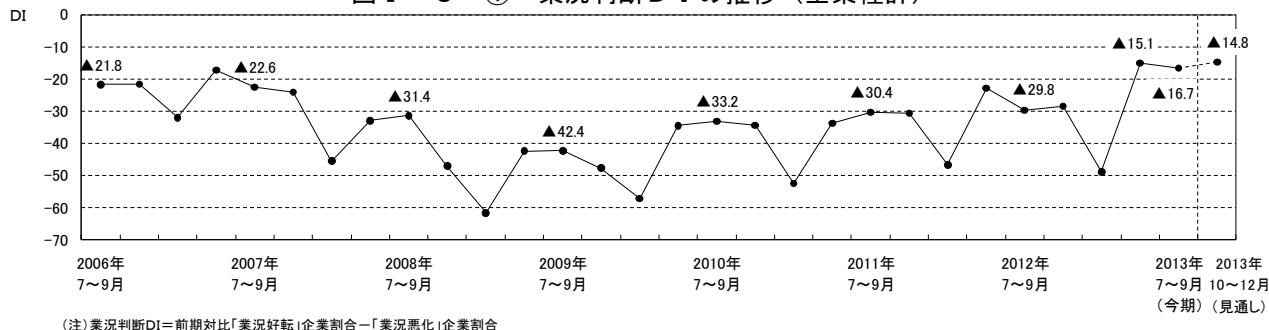
図I-2-③ 飲食業採算DIの推移



3. 業況判断

- 業況判断DIは、前期から1.6ポイント低下して▲16.7となり、前年同期に対しては13.1ポイント上回りました。2期連続で前年同期の水準を上回りました。
来期の見通しは、▲14.8となり、1.9ポイントの上昇を見込んでいます。

図 I - 3 - ① 業況判断DIの推移（全業種計）



- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「冰雪販売業」「映画館」「ホテル・旅館業」の4業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の7業種で上昇しました。
来期の見通しは、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「美容業」「クリーニング業」の4業種で上昇を見込んでいます。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「社交業」の4業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上昇しました。
来期の見通しは、「料理店」「社交業」「その他飲食店」の3業種で上昇を見込んでいます。

図 I - 3 - ② 業種別業況判断DIの推移（飲食業を除く）

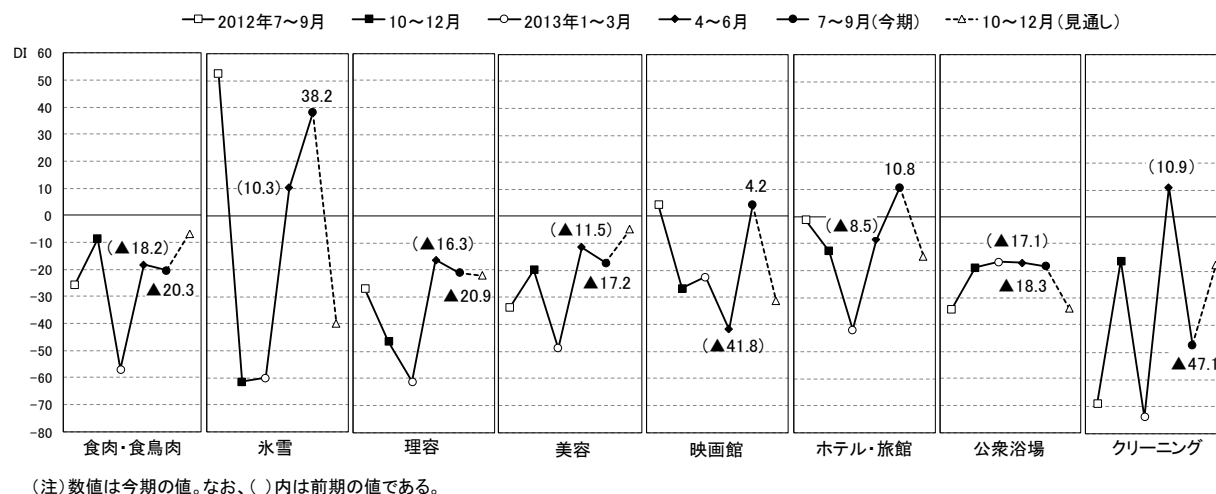
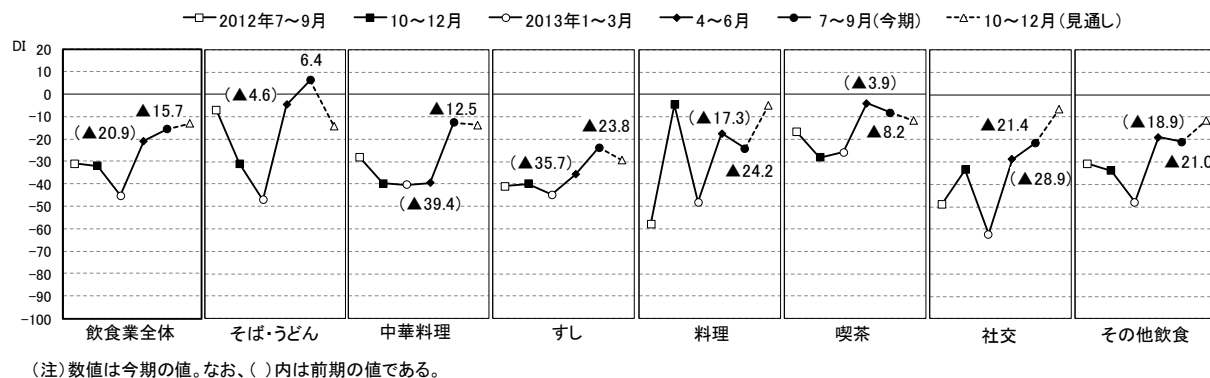


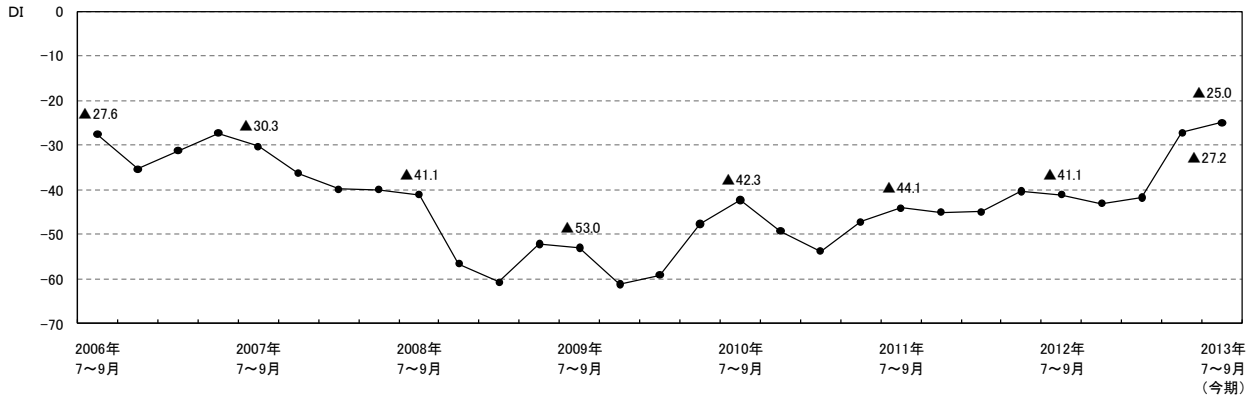
図 I - 3 - ③ 飲食業業況判断DIの推移



4. 利用客数

- 利用客数D Iは、前期から2.2ポイント上昇して▲25.0となり、前年同期に対しては16.1ポイント上回りました。8期連続で前年同期の水準を上回りました。

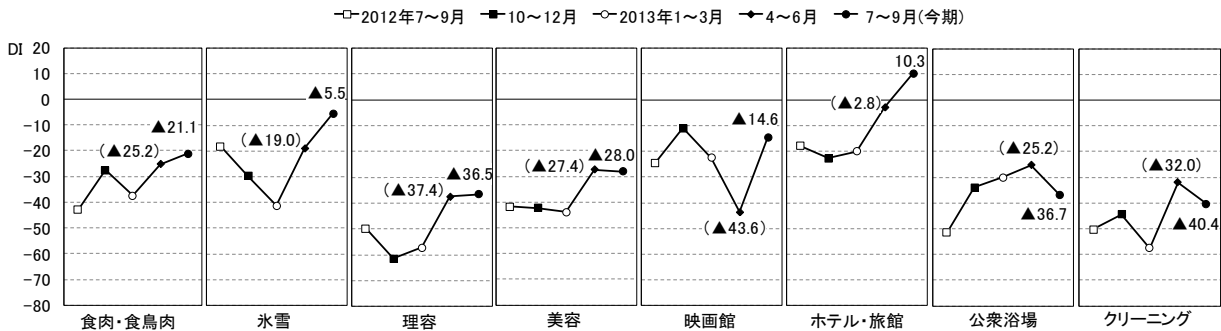
図 I - 4 - ① 利用客数D Iの推移（全業種計）



(注) 利用客数DI=前年同期対比「利用客数増加」企業割合-「利用客数減少」企業割合

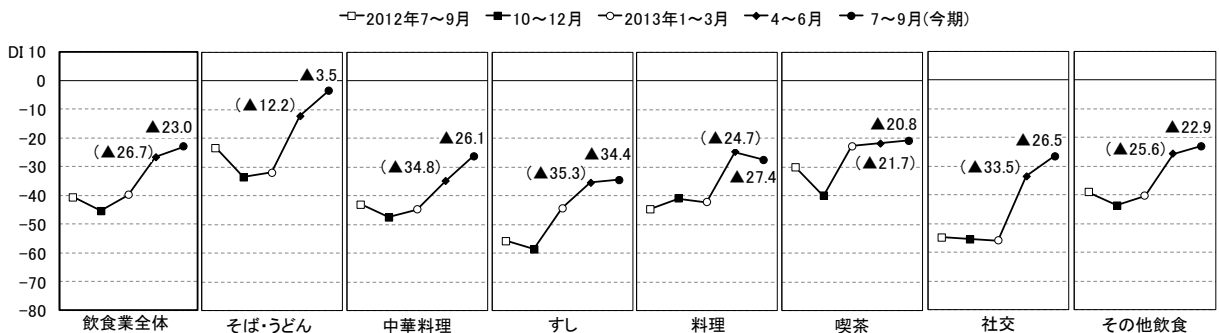
- 業種別にみると、前期に比べ、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「映画館」「ホテル・旅館業」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上昇しました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「すし店」「喫茶店」「社交業」「その他飲食店」の6業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上昇しました。

図 I - 4 - ② 業種別利用客数D Iの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I - 4 - ③ 飲食業利用客数D Iの推移

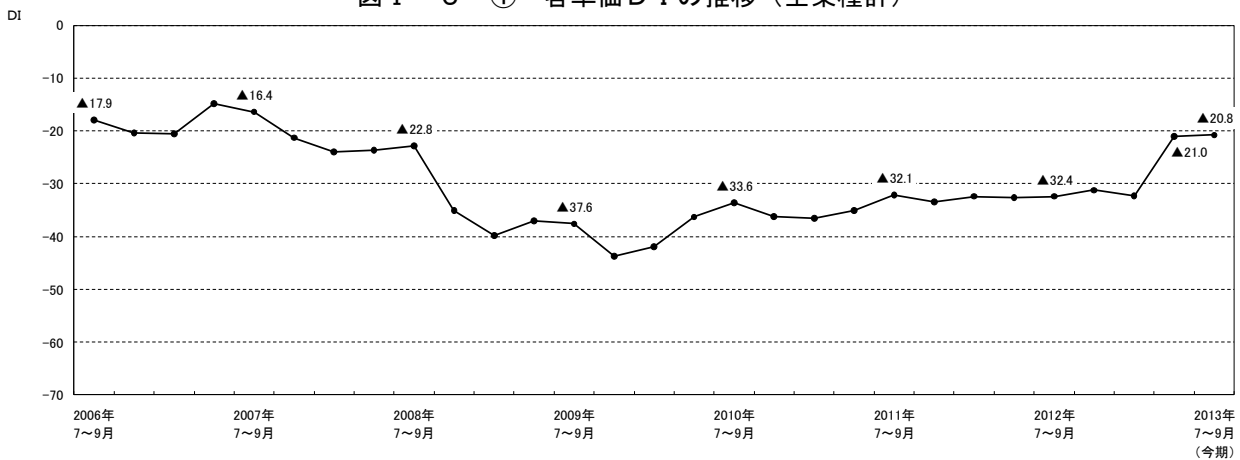


(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

5. 客単価

- 客単価DIは、前期から0.2ポイント上昇して▲20.8となり、前年同期に対しては11.6ポイント上回りました。2期連続で前年同期の水準を上回りました。

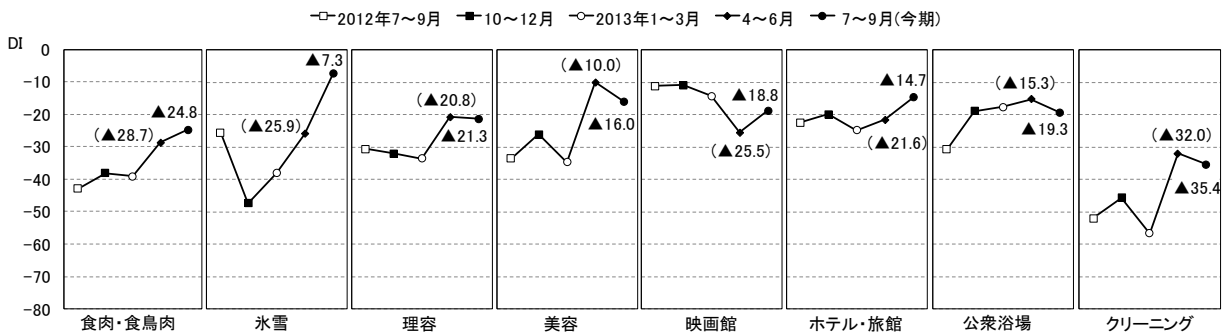
図 I-5-① 客単価DIの推移（全業種計）



(注) 客単価DI=前年同期対比「客単価上昇」企業割合-「客単価低下」企業割合

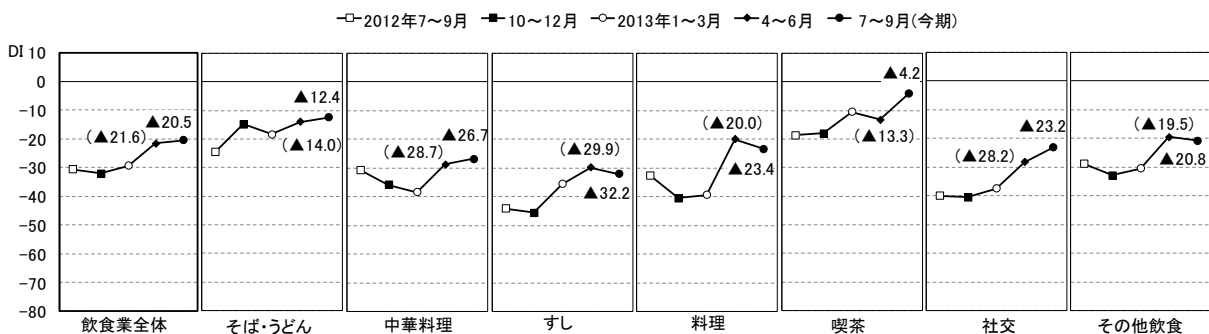
- 業種別では、前期に比べ、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「映画館」「ホテル・旅館業」の5業種で上昇しました。前年同期に対しては、「飲食業」「食肉・食鳥肉販売業」「冰雪販売業」「理容業」「美容業」「ホテル・旅館業」「公衆浴場業」「クリーニング業」の8業種で上昇しました。
- 飲食業の業種別では、前期に比べ、「そば・うどん店」「中華料理店」「喫茶店」「社交業」の4業種で上昇しました。前年同期に対しては、全業種で上回りました。

図 I-5-② 業種別客単価DIの推移（飲食業を除く）



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

図 I-5-③ 飲食業客単価DIの推移



(注) 数値は今期の値。なお、()内は前期の値である。

II 設備投資の動向

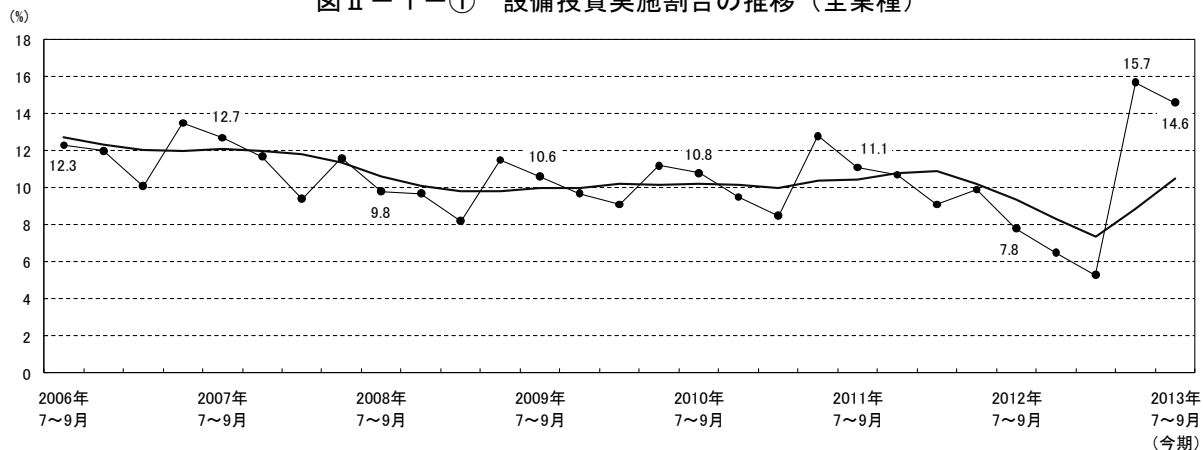
1. 設備投資の実施状況

(1) 設備投資の状況

今期（2013年7～9月期）に設備投資を行った企業の割合は14.6%と前期（15.7%）に比べ1.1ポイント低下しました。前年同期（7.8%）に対しては6.8ポイント上昇しました。

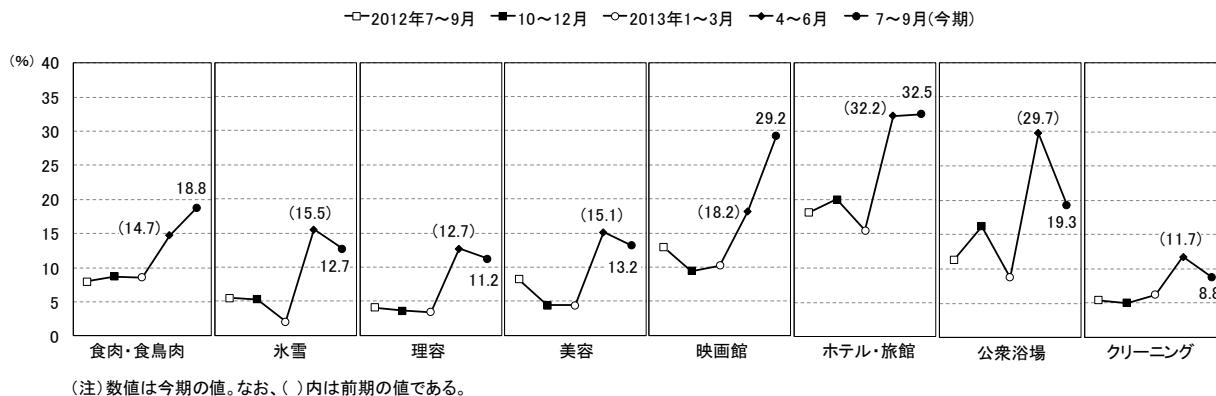
生活衛生関係営業の設備投資は、持ち直しの動きが続いています。

図Ⅱ-1-① 設備投資実施割合の推移（全業種）

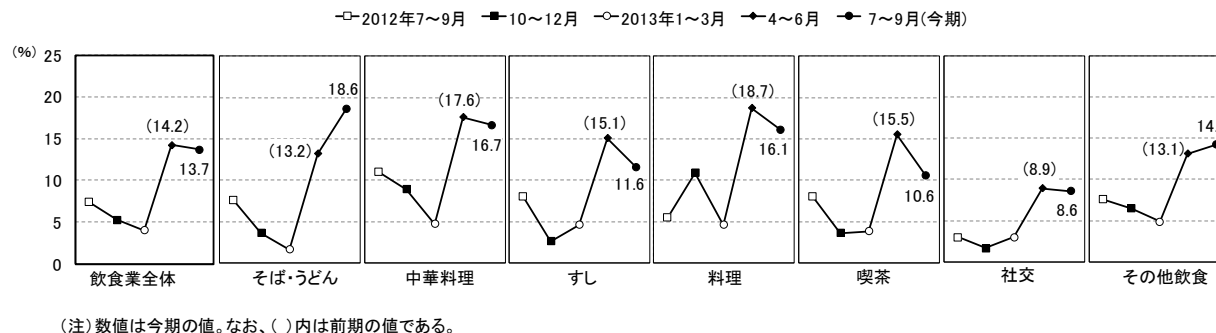


- 設備投資を実施した割合を業種別に高い順にみると、「ホテル・旅館業」32.5%、「映画館」29.2%、「公衆浴場業」19.3%となっています。全業種で前年同期の水準を上回りました。
- 飲食業の業種別に設備投資を実施した割合を高い順にみると、「そば・うどん店」18.6%、「中華料理店」16.7%、「料理店」16.1%となっています。全業種で前年同期の水準を上回りました。

図Ⅱ-1-② 業種別設備投資実施割合の推移（飲食業を除く）



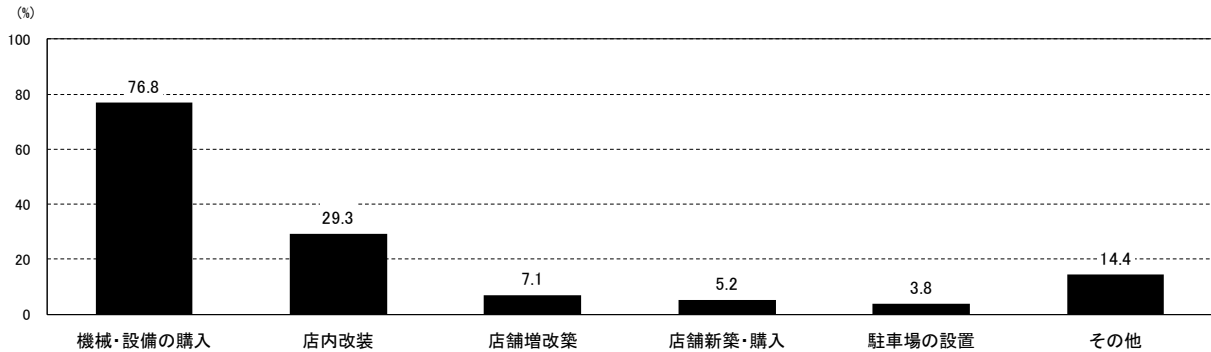
図Ⅱ-1-② 飲食業設備投資実施割合の推移



(2) 設備投資の内容

- 設備投資の内容は、「機械・設備の導入」76.8%、「店内改装」29.3%、「店舗増改築」7.1%の順となっています。

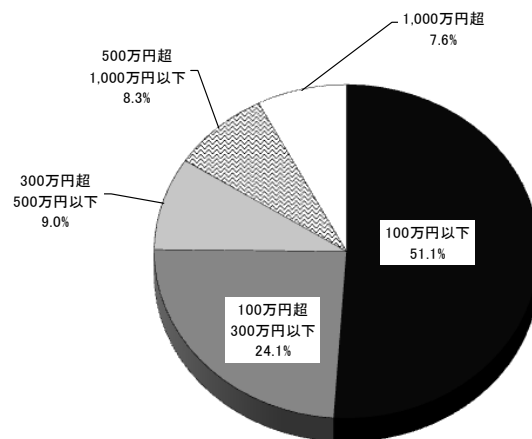
図Ⅱ-1-④ 設備投資の内容（全業種、複数回答）



(3) 設備投資金額

- 設備投資を行った企業の投資金額をみると、「100万円以下」51.1%、「100万円超300万円以下」24.1%。「300万円超500万円以下」9.0%となっており、500万円以下の小口投資が84.2%を占めました。
一方、「500万円超1,000万円以下」8.3%、「1,000万円超」7.6%となっています。

図Ⅱ-1-⑤ 設備投資金額（全業種）



事業を営む皆さまの経営に役立つ情報が満載！

事業者サポートマガジン好評配信中！！

「事業者サポートマガジン」は、日本政策金融公庫 国民生活事業がお届けする「事業者向けメールマガジン配信サービス」です。事業を営む皆さまに、月1回、経営に役立つ情報や公庫からのお知らせをお届けします。

ご登録は、無料！日本公庫ホームページ(<http://www.jfc.go.jp/>)にアクセス！！

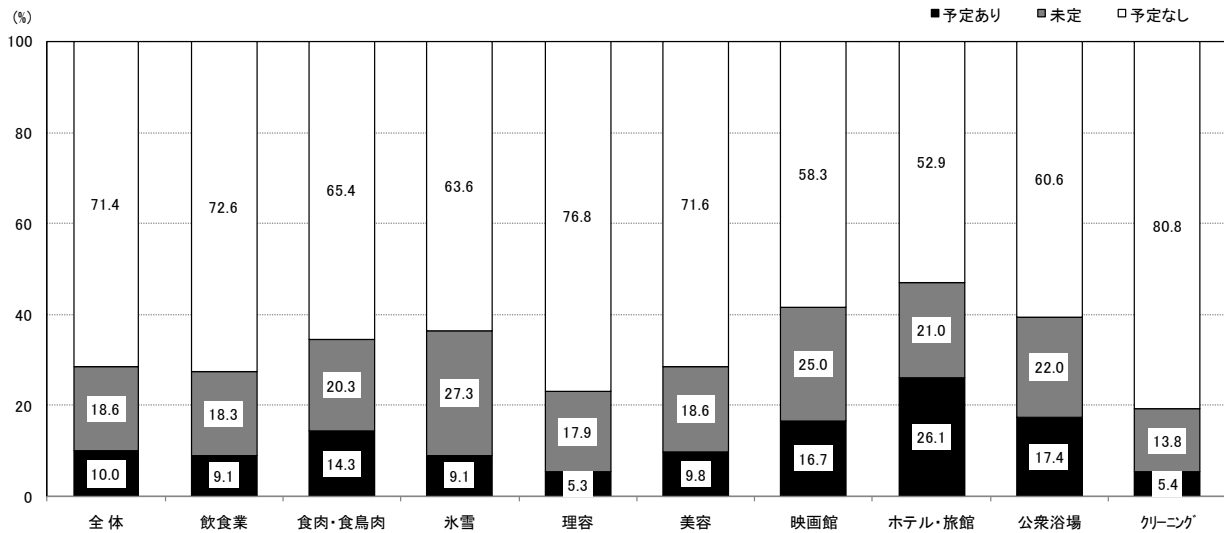
(日本公庫トップページの「シミュレーション・各種お申込み」⇒「メール配信サービス」⇒「事業者サポートマガジン」からご登録いただけます。)

2. 来期以降1年間の設備投資計画

(1) 計画の有無

- 来期以降1年間の設備投資計画については、「予定あり」10.0%、「未定」18.6%、「予定なし」71.4%となっています。「予定あり」の企業割合は前期（12.2%）から2.2ポイント低下、前年同期（6.4%）に対しては3.5ポイント上昇しました。
- 設備投資を「予定あり」とする企業を業種別に高い順にみると、「ホテル・旅館業」26.1%、「公衆浴場業」17.4%、「映画館」16.7%となっています。

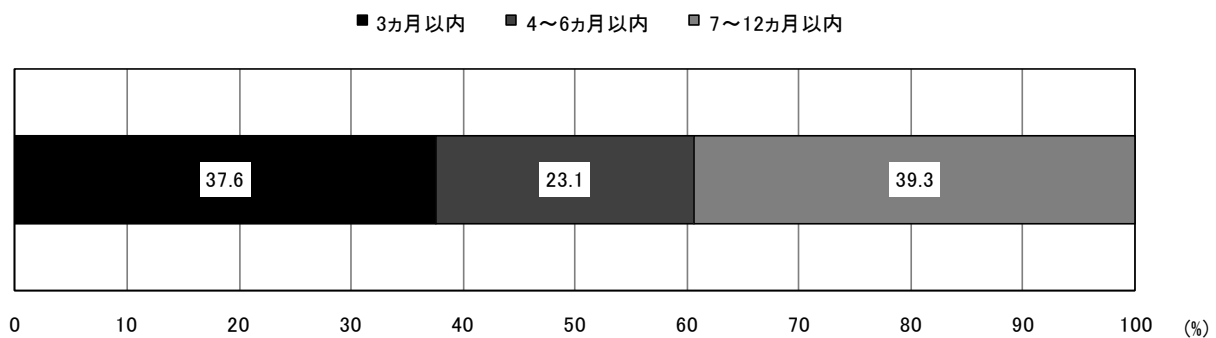
図Ⅱ-2-① 来期以降1年間の設備投資計画の実施予定割合（業種別）



(2) 設備投資の実施予定時期

- 設備投資計画で「予定あり」と回答した企業について、実施予定時期をみると、「3ヵ月以内」37.6%、「4～6ヵ月以内」23.1%、「7～12ヵ月以内」39.3%となっています。

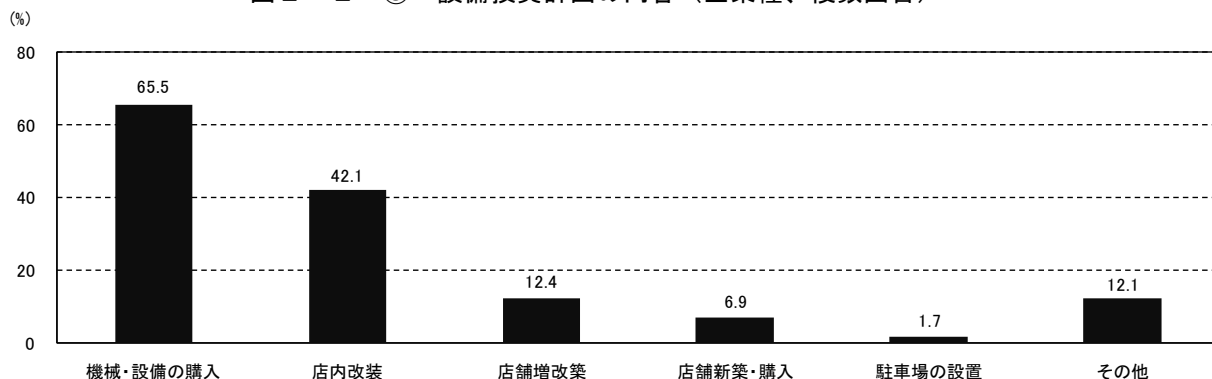
図Ⅱ-2-② 設備投資計画の実施予定時期（全業種）



(3) 設備投資計画の内容

- 設備投資計画の内容は、「機械・設備の導入」65.5%、「店内改装」42.1%、「店舗増改築」12.4%の順となっています。

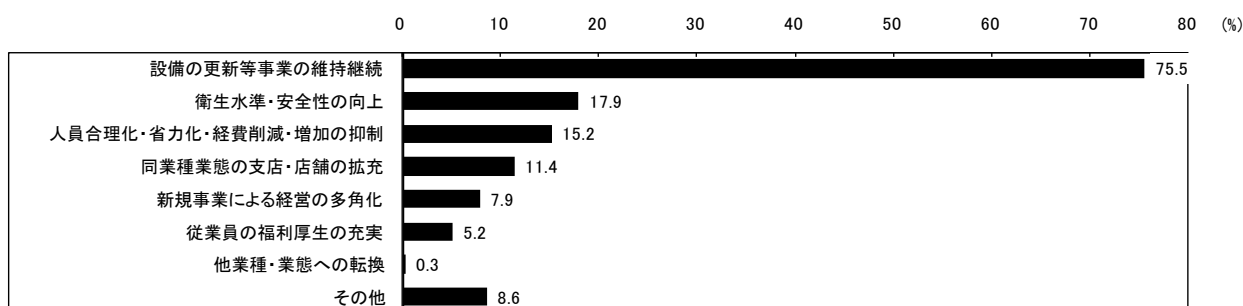
図Ⅱ-2-③ 設備投資計画の内容（全業種、複数回答）



(4) 設備投資計画の動機

- 設備投資計画の動機は、「設備の更新等事業の維持継続」75.5%、「衛生水準・安全性の向上」17.9%、「人員合理化・省力化・経費削減・増加の抑制」15.2%の順となっています。

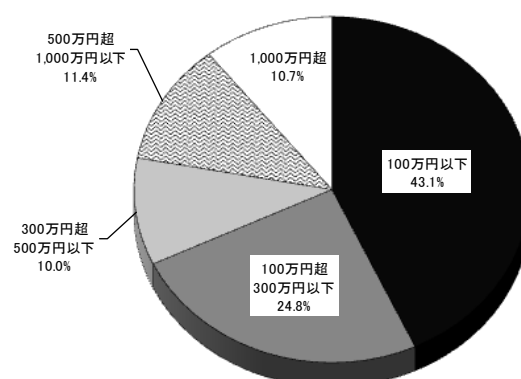
図Ⅱ-2-④ 設備投資計画の動機（全業種、複数回答）



(5) 設備投資予定金額

- 設備投資予定額は、「100万円以下」43.1%、「100万円超 300万円以下」24.8%、「300万円超 500万円以下」10.0%となっています。500万円以下の小口投資は、全体の77.9%を占めています。

図Ⅱ-2-⑤ 設備投資予定金額（全業種）



Ⅲ 経営上の問題点

- 経営上の問題点で多いものを順にみると、「顧客数の減少」56.1%、「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」34.5%、「客単価の低下」26.3%、「店舗施設の狭隘・老朽化」23.5%、「従業員の確保難」11.9%となっています。
- 「そば・うどん店」「中華料理店」「食肉・食鳥肉販売業」は「仕入価格・人件費等の上昇を価格に転嫁困難」、「ホテル・旅館業」は「店舗施設の狭隘・老朽化」、その他の業種では「顧客数の減少」を第1位としてあげています。

表 経営上の問題点（業種別、2013年7～9月）

(%)

項目	顧客数の減少	転等仕 嫁の入 困上価 難格を ・価人 格件に 費	客 単 価 の 低 下	老 店 朽 化 施 設 の 狭 隘 ・	従 業 員 の 確 保 難	後 継 者 難	事 業 資 金 借 入 難	そ の 他	特 に 問 題 な し
業種合計	56.1	34.5	26.3	23.5	11.9	9.8	4.0	3.9	8.6
飲食業合計	51.8	42.6	26.0	21.7	13.0	8.7	5.0	3.0	7.9
そば・うどん店	41.9	50.6	23.3	24.4	13.4	12.2	6.4	2.3	7.6
中華料理店	48.2	51.8	25.6	20.8	14.3	10.7	3.0	1.8	7.7
すし店	57.5	37.6	31.5	19.3	8.3	8.8	6.6	3.3	6.6
料理店	50.0	46.8	25.0	19.4	13.7	10.5	6.5	1.6	8.1
喫茶店	57.1	50.6	17.6	30.6	4.7	10.0	1.8	2.9	7.1
社交業	61.0	18.2	29.9	16.0	24.1	3.2	5.9	3.2	11.8
その他飲食店	49.0	44.3	26.9	21.5	12.4	7.8	4.9	3.9	7.3
食肉・食鳥肉販売業	45.1	48.9	24.8	29.3	6.8	11.3	2.3	0.8	10.5
氷雪販売業	56.4	21.8	25.5	21.8	5.5	16.4	3.6	3.6	18.2
理容業	71.5	12.3	29.9	20.4	9.8	12.8	3.4	7.3	10.3
美容業	57.8	20.1	24.8	20.6	20.8	11.0	2.5	4.7	10.8
映画館	66.7	20.8	20.8	41.7	8.3	2.1	4.2	12.5	6.3
ホテル・旅館業	43.3	36.9	26.8	43.9	10.2	8.9	5.7	4.5	3.2
公衆浴場業	70.6	28.4	5.5	45.0	1.8	11.9	0.9	4.6	10.1
クリーニング業	60.8	44.2	36.3	13.8	4.2	8.8	3.3	2.9	5.8

(注)複数回答のため合計は100を超える。

IV 特徴的な業況判断理由（業種・地域別）

今期および来期見通しの業況に対する判断理由（地域経済、業界の特徴および経営面での取り組みを含みます。）について、特徴的なものを取りまとめると次のとおりです。

今期：2013年7～9月期 来期：2013年10～12月期

◆飲食業

業種	業況	地域	判断理由
そば・うどん店	今期	好転	福岡県 優秀なスタッフが揃いサービスが向上しロスも少なくなった。お客様からの評判も良く、口コミ効果により業況は好転した。人材の大切さを身にしみ感じており、そば職人の育成に努めている。
		不変	宮崎県 創業100周年を記念して店内で古典芸能を開催した。CM等の宣伝効果もあり売上が増える日もあるが、全体としては横ばい状態。人の動きをみると景気は良くなっているように感じる。
		悪化	秋田県 安価な弁当やコンビニエンスストアの増加により、お客様の選択肢が増えた。客単価が低下している。
	来期見通し	好転	群馬県 女性の固定客が増えている。メニュー構成やボリューム、盛り付けなどを工夫して客数をさらに増やしたい。
		不変	埼玉県 アベノミクスにより株価は上昇傾向にあるが、その恩恵を感じられない人が多い。今後、公共料金の値上がりなどにより、経営はさらに厳しくなる。小規模店は価格転嫁が難しいので、新メニューを考案するなどして凌いでいかなければならない。
		悪化	東京都 新そばと旬の食材を使った秋メニューをPRし売上減少を抑える。年越しそばにも期待するが、利用客の減少が予想される。
中華料理店	今期	好転	栃木県 日光などを観光した後に、餃子やラーメン等のご当地名物を求めるお客様が増えた。インターネットを活用した情報発信等により、県外客が増え客単価も昨年を上回っている。
		不変	宮崎県 料理のクオリティや接客面を改善しており落ち込みを防ぐことができている。リピーターも増えている。
		悪化	埼玉県 個人経営の同業者の閉店が相次いでいる。仕入価格などが上昇しているが、商品の値上げは実施できない。
	来期見通し	好転	神奈川県 来店客がブログなどに写真入りで紹介してくれている。口コミ効果により業況は良くなるのではないかと。
		不変	広島県 近隣の大型工事が終了したため、工事関係の客が減る懸念がある。
		悪化	福岡県 周辺の会社が規模を縮小・撤退しており、来客数が減っている。得意先企業の残業の減少が客単価の低下につながり、業況悪化に拍車がかかると思う。
すし店	今期	好転	島根県 出雲大社の遷宮により県内外からの観光客が大幅に増え、売上も増加した。
		不変	愛知県 定期的に挨拶状を出すことによりリピーターが増えている。ワイン会を催しているが回を重ねるごとに盛況となっている。
		悪化	福岡県 スーパーやコンビニエンスストアで工夫を凝らした寿司が販売されるなど、お客様が寿司を安価で購入できるようになり売上が減っている。出前を頼むのは特別な来客がある場合のみになっている。
	来期見通し	好転	大阪府 若者にも支持されるように思い切って単価を下げた。その効果を期待している。
		不変	秋田県 企画商品を雑誌や新聞等でPRし来客数を増やしたい。
		悪化	静岡県 地域経済に明るい兆しはあるが、消費税増税を控え生活を防衛する意識が顕著になると思うので見通しは暗い。月ごとにイベントを設定するなど、販売促進活動（外食のきっかけ作り）に取り組む必要

				がある。
料理店	今期	好転	高知県	年始から個室での840円ランチを始めたが、徐々に結果が出てきた。客単価の高い接待で利用する顧客が戻ってきたこととコンサルタント会社によるインターネットサイトにおけるサポートにより来店客が増えた。
		不変	徳島県	前期の伸びからすると停滞気味である。新たな発想の夏メニューの開発が手薄になっていた。
		悪化	埼玉県	売上は前期よりわずかに増えているが、光熱費やガソリン代の値上げ、原材料価格の高騰により、経営は厳しい状況にある。
	来期見通し	好転	神奈川県	ホームページやチラシ等の宣伝活動を始めている。年配のお客様が多く、座敷席をテーブル席に替えるなどの取り組みをしたところ好評を得ている。今後もこうした効果が徐々に出てくるものと考えている。
		不変	香川県	瀬戸内国際芸術祭で県外からの来客が期待できる。瀬戸内の魚が好評であり、旬の物を種類も多く仕入れるなど工夫している。
		悪化	埼玉県	零細企業なので値上げするわけにもいかず、見通しは暗い。売上は若干増えているものの、経費負担が重く、利益が減少する厳しい状況は続くだろう。
喫茶店	今期	好転	静岡県	政府の経済政策の効果により、景況の明るさを感じている。サンドイッチやコーヒーゼリー等でハーフサイズを新たに加える工夫をした効果が出ている。
		不変	和歌山県	最近は大手企業が宅配給食に進出してきており、価格競争が厳しくなっている。
		悪化	広島県	仕入価格が上昇したが価格を据え置いたため、利益が減った。
	来期見通し	好転	奈良県	高級・希少なコーヒー豆を使い差別化を図った。高級感を求めるお客様に喜ばれている。
		不変	岐阜県	ランチの客数が減ったため、カルチャー教室向けに店内スペースの貸し出しを始めた。来期はこの数を増やすとともに、店内でイベント等を開催し、看板商品をアピールしたいと考えている。
		悪化	広島県	引き続き価格は据え置く。客数が減り、経営は厳しくなっている。
社交業	今期	好転	埼玉県	女性向けにヘルシーな新メニューを追加した。長時間いていただけるような店づくりや、コミュニケーションを大事にしたことにより客単価が上昇した。
		不変	岩手県	売上は若干増えているが、震災後の景気低迷は依然として続いており客数が伸びない。現状を維持することが大変である。
		悪化	香川県	前期はアベノミクスへの期待感もあり団体客が多かった。今期は猛暑の影響が大きいいためか団体客が減り、個人客が多い。
	来期見通し	好転	静岡県	経済政策の効果が徐々に浸透し、消費者心理が好転すると期待している。地域の催しに積極的に参加するなど、地域とのつながりを重視していきたい。
		不変	栃木県	経済状況が大きく好転して企業活動が活発になり、お客様の給料や小遣いが増えないと社交業界は良くならない。
		悪化	青森県	業歴が長く、高齢の常連客が多い。何とか現状を維持したいが、冬場は客足が減少すると思う。
その他飲食店	今期	好転	福井県	限られた人数しか座れなかったテーブル席に、予備の椅子と可動式テーブルを設置したところ、子連れ客に好評だった。
		不変	高知県	HPのリニューアル、SNSの活用（Web上でのクーポン発行）、ショップカードの作成等を積極的に行っているが、現状維持が精一杯である。
		悪化	鹿児島県	今夏は猛暑で商店街も人通りが少なく、特に昼間は通行量が少ない状況だった。常連のサラリーマン客もコンビニエンスストアで弁当を買い、会社で昼食を済ます方が多かったようだ。

	来期見通し	好転	岐阜県	中国人観光客が減ったが、最近タイ、マレーシアなどの東南アジアからの観光客が増えている。インターネットを通じた情報発信の効果を期待している。
		不変	三重県	大きな変化は見込めない。店舗近くに大型の公共施設ができることから、集客につながるものと期待している。このような大型ショッピングモールやイベントなどの集客施設・機能が必要である。
		悪化	岩手県	仮設店舗で営業している。復旧・復興に伴い周辺の店舗が営業し始めており、仮設店舗よりも綺麗な本設店舗を利用するお客様が徐々に増えている。

◆食肉・食鳥肉販売業

業種	業況	地域	判断理由	
食肉販売業	今期	好転	岐阜県	名古屋市内の百貨店に2週間にわたり出展したところ売上が伸びた。また、農産物販売店で銘柄豚を販売するようになり、売上が少しずつ増えている。自店舗への来客も増えている。
		不変	宮崎県	この夏は猛暑で、週末の需要も期待したほど伸びなかった。生産地である地元でも牛肉の仕入価格が高騰しており、経営を圧迫している。
		悪化	宮城県	仕入原価の上昇を販売価格に転嫁できず、業況は悪化している。
	来期見通し	好転	愛媛県	秋から冬にかけて、肉の消費が増えると思う。忘年会やクリスマスの時期でもあり、鍋物、おでん等での肉の販売が増えると思う。
		不変	秋田県	仕入価格が上昇しており、値上げするか、または価格は据え置き量を減らすしかない。厳しい対応が続き現状維持が精一杯と考える。肥料は全て輸入品であり、TPPが実施されれば影響が緩和されるのではないかと期待している。
		悪化	栃木県	近くに大型スーパーが開店するため、顧客の減少が予想される。
食鳥肉販売業	今期	好転	和歌山県	ウナギも取り扱いしている。仕入価格が高騰しており価格を引き上げた。夏場は例年売上が増えるが、今夏は暑さも手伝い業況は好転している。
		不変	広島県	地域の需要以上に業者間の競争が激しくなっている。価格の下落等により、利益が減っている。
		悪化	千葉県	昨年末から鶏卵の価格が上昇している。また、円安の影響で輸入品の価格が上昇しているが、価格に転嫁できていない。
	来期見通し	好転	東京都	来期は業界における最盛期であり、売上、利益とも大幅に増える。上期の赤字は解消され、利益も確保できる見込みである。消費マインドも改善傾向にあるため、秋口以降のクリスマス、年末商戦では前年を上回るものと期待している。
		不変	宮崎県	同業者が減る中で、新興住宅地が増えているため、当店の利用が増えている。商品の鮮度や安全に気を配るとともに、惣菜類の開発により利用客が増えることを期待している。
		悪化	香川県	夏期の雛の育成状況が悪く、年末に向け品薄が予想される。鶏肉を別の業者から仕入れる必要があり、来期は若干の採算悪化が見込まれる。

◆冰雪販売業

業種	業況	地域	判断理由	
冰雪販売業	今期	好転	神奈川県	かき氷を店頭で売り出した。宣伝効果となり新規客が増えた。今年は猛暑でイベント用の受注が増えた。
		不変	大阪府	トータルで変わりはない。同業者が少ないことも一因である。
		悪化	東京都	イベント数が前期に比べやや減ったため、売上が減少した。

	来期見通し	好転	大阪府	新規客を獲得しており、好転を期待している。
		不変	東京都	これまで以上に注文を受けると時間外手当の増加等で採算が悪化する。現状維持できれば幸いと考える。
		悪化	東京都	取引先の廃業等、依然厳しい状況が続くと考える。

◆理容業

業種	業況	地域	判断理由	
理容業	今期	好転	福島県	酷暑で冷しシャンプーの利用が増え、客単価が上がり業況は好転した。情報誌への広告掲載とポイントカード発行により顧客確保に努めている。
		不変	島根県	新規客が少なく固定客も高齢化し、売上は年々減少傾向にある。出張理容等により売上減少をカバーしている。
		悪化	山梨県	アベノミクスで経済が良くなっているとの報道もあるが、地域経済は全然良くなっていない。
	来期見通し	好転	青森県	経営理念を見直した。お客様一人一人に合ったサービスの提供が必要と考え、インターネットを活用し集客活動を実施した。インターネットでの集客は順調に伸びている。
		不変	島根県	新規客の獲得、固定客の流出防止、来店サイクルの短縮化に向けた対策を検討しているが、具体的な対応策が分からない状況である。
		悪化	山形県	売上の減少が止まらない。対応策として老人ホームへの出張を行っている。若者が来店しやすいように、技術と接客の向上に努めたい。

◆美容業

業種	業況	地域	判断理由	
美容業	今期	好転	青森県	ポイントが5倍、10倍となるキャンペーンを実施したところ、来客数が増えた。商品を購入するお客様も多く売上が増えた。
		不変	広島県	固定客向けの記念パーティ、各種イベント及び商品の説明会等を行ったところ、お客様の購買意欲が高まっている。
		悪化	福島県	ベテランの従業員が産休に入り、スタッフが不足した。原子力発電所の事故の影響でスタッフの補充がスムーズにいかない。
	来期見通し	好転	埼玉県	利用客数が減少する中、客単価のアップで補っている。既存客からの口コミで利用客数が増える計画であり、好転を見込んでいる。
		不変	宮崎県	長年ご利用いただいているお客様にVIPカード等を発行し、他店への流出を防いでいる。徐々に売上アップにつながっている。
		悪化	鹿児島県	アベノミクス効果がニュースになり好景気への期待が高まっているが、周りの方は実感が無い人が多い。将来に対する不安を抱えている方も多く、当面、業況の低迷は続くと考えられる。

◆映画館・劇場

業種	業況	地域	判断理由	
映画館	今期	好転	和歌山県	今期は「風立ちぬ」のヒット等で利用客数が増えた。
		不変	神奈川県	シネコンの進出が収まっている。
		悪化	愛知県	大手企業の従業員の出勤シフトが変動し、週末の来場者が減っている。上映作品の選択が難しくなっている。
	来期見通し	好転	佐賀県	時期的に映画部門の好転は期待できないが、CM関連の収入が増加している。
		不変	石川県	来期は施設の賃貸収入やイベント収入が増えるの見込んでいる。
		悪化	岐阜県	今年有望な作品がなく苦戦を強いられそうである。

◆ホテル・旅館業

業種	業況		地域	判断理由
ホテル・旅館業	今期	好転	高知県	地域経済の落ち込みや人口減少など外部環境は厳しいが、顧客ニーズに沿った戦略的な投資を毎期実施していることが、来場者の増加に繋がっている。
		不変	東京都	外国人客は増えたが、猛暑により観光客が減少したため業況は変わらない。
		悪化	奈良県	夏期は大きなイベントがないため、例年観光客は減少する。燈花会は多くの人で賑わうが、近隣の方は日帰り、遠方の方は素泊まりといった傾向があり、売上に結び付かない。目を惹くプランを模索中である。
	来期見通し	好転	北海道	旅行会社とも連携し、札幌で行われるスポーツ大会やコンサート等の情報を確認しながら集客活動を行った結果、売上が伸びた。来期も各種イベントを丹念に調べ、価格を見直しながら集客していきたい。
		不変	三重県	伊勢神宮の式年遷宮が終わっていないので、集客効果は続くと思う。秋季全国大学駅伝や国際自動車レースの開催等の宿泊も見込まれるが、利用客数は変わらないと思う。
		悪化	新潟県	年々忘年会等が減少し、客単価も低下傾向にある。業況は悪化すると予想している。

◆公衆浴場業

業種	業況		地域	判断理由
公衆浴場業	今期	好転	愛知県	老朽化した機械設備を更新したことで利用客数が増加し、売上も少し増えた。
		不変	鳥取県	猛暑（8月）や大雨（9月）の影響で前年に比べ売上は減った。7月にスーパー銭湯が開店し、影響を危惧したが、それほど影響はなかった。
		悪化	大阪府	燃料費、電気料金の値上げの影響から、業況が悪化している。
	来期見通し	好転	熊本県	秋は涼しくなるので、良くなることを願っている。
		不変	福井県	経営を圧迫している原価の上昇は、来期も継続すると考える。
		悪化	静岡県	入浴客は中高年齢層で固定化している。これからは快適な気候になるので利用客数も頻度も減ると思う。

◆クリーニング業

業種	業況		地域	判断理由
クリーニング業	今期	好転	香川県	年1回、老人ホームで実施している祭で使用する法被等が出たため好転した。
		不変	青森県	前期に比べて軽装衣料の比率が多く単価は伸びなかったが、品数が多かったため、売上は維持できた。
		悪化	群馬県	客数は変わらないが、品数が減っている。高齢化や学生数の減少など、クリーニング店に品物を出す機会が少なくなっている。
	来期見通し	好転	広島県	景況が良くなり、高級感のある衣料の販売が伸びることが期待される。
		不変	静岡県	固定客がおり経営は安定しているが、ニーズが多様化し専門店化が進むと思う。サービス、専門技術の向上に努めなければならない。
		悪化	福岡県	売上が減少したため同業者の下請けを始めたが、高齢化や自宅で洗濯する方が増えたため、厳しい状況は続くと思う。